

# 会津若松市 健康かるて

令和2年3月

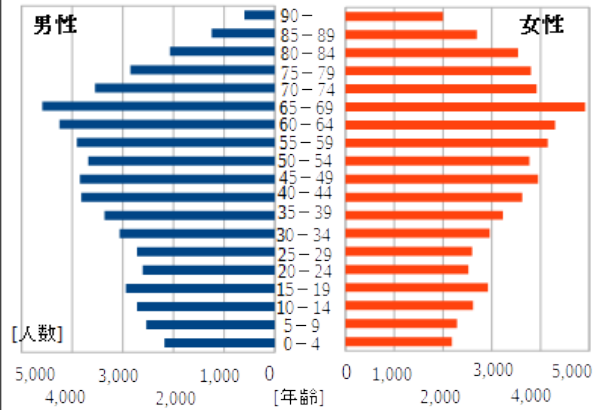
## I. 基礎データ

### 1. 人口データ(平成31年4月1日現在)

世帯数	51,453世帯		
総人口	全体	男性	女性
	118,518人	56,524人	61,994人
高齢化率	全体	男性	女性
	30.2%	26.4%	33.7%

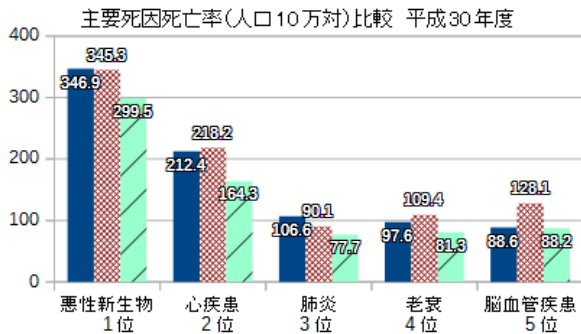
出典: 住民基本台帳

### 2. 男女別年齢階級人口(平成31年4月1日現在)



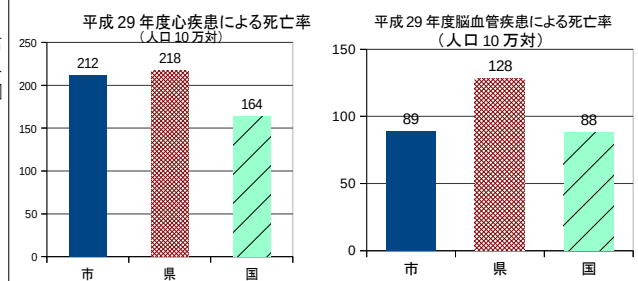
出典: 住民基本台帳

### 3. 主要死因死亡率(人口10万対)比較



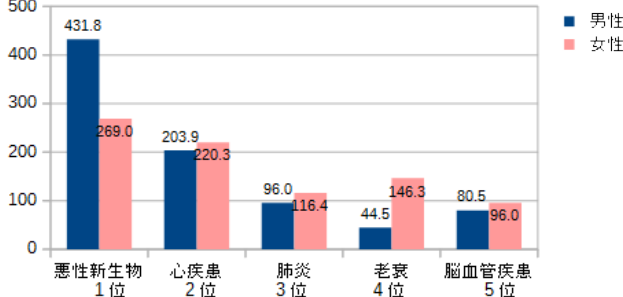
出典: 国保データベースシステム

### 4. 心疾患、脳血管疾患による死亡の状況



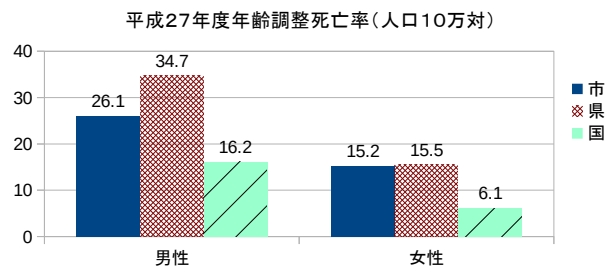
出典: 平成29年度保健統計の概況(福島県)

#### 会津若松市 主要死因死亡率男女別(人口10万対) 平成29年度



出典: 福島県保健統計の概況

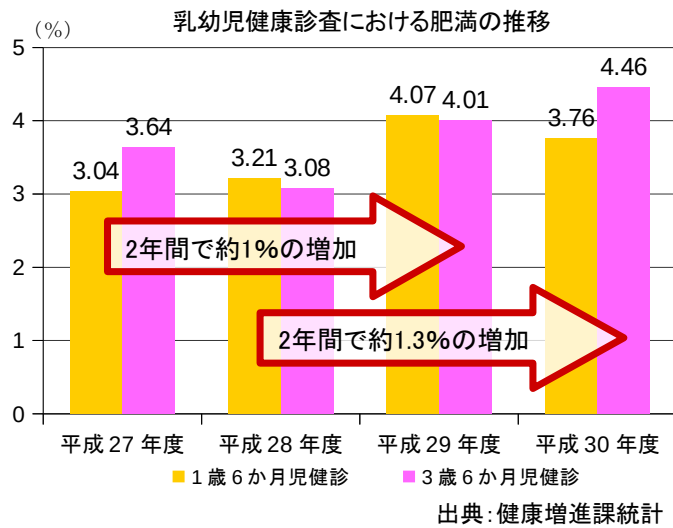
#### 急性心筋梗塞による死亡



出典: 厚生労働省人口動態特殊報告

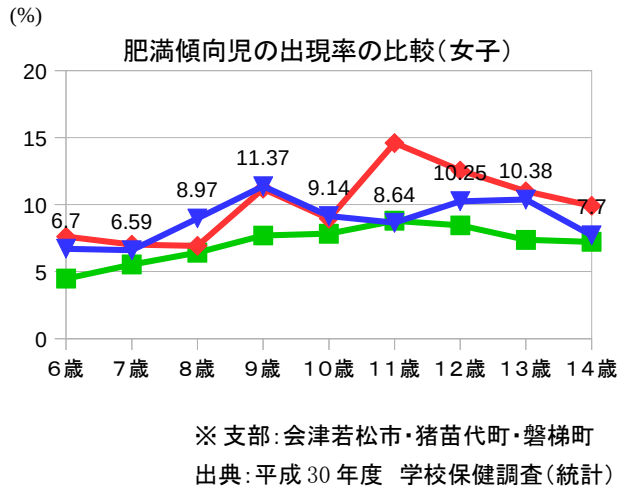
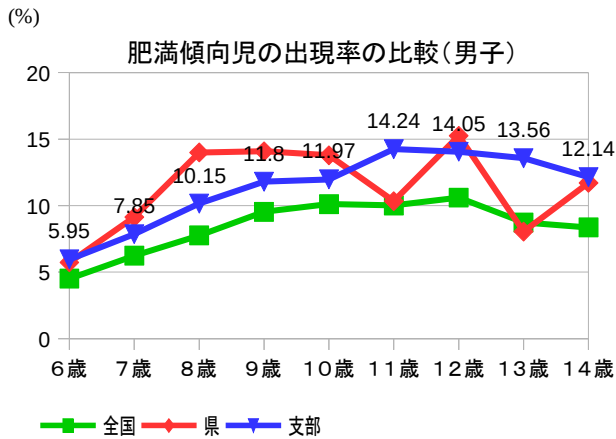
## Ⅱ.子どもの肥満

### 1. 乳幼児健診(1歳6か月健診・3歳6か月健診)での肥満の状況



・幼少期からの習慣が重要です。肥満は子どもより大人の責任です。

### 2. 小学校以降の肥満の状況



・学童期(小学生～中学生)において、男女ともに肥満傾向児が増加し、すべての年代で国を上回っており、県とともに肥満傾向児が多いことがわかります。

## VI.介護認定状況

### 1.有病状況(平成30年度累計)

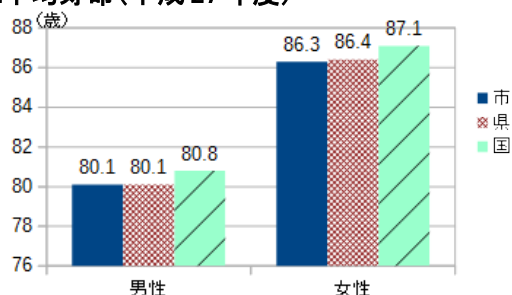
	市	県	同規模	国
1号認定率	21.1%	20.4%	18.5%	19.2%
2号認定率	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%
新規認定率	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
有病状況				
糖尿病	18.6%	19.7%	21.4%	22.4%
高血圧症	49.5%	55.6%	49.0%	50.8%
脂質異常症	28.2%	28.8%	27.8%	29.2%
心臓病	55.0%	61.9%	55.9%	57.8%
脳疾患	20.7%	25.8%	23.7%	24.3%
がん	9.4%	10.2%	9.9%	10.7%
筋・骨格	46.5%	52.2%	48.4%	50.6%
認知症	22.5%	24.5%	22.2%	22.9%

※同規模…人口規模が同様(10万人以上15万人未満)な市の平均値  
出典:国保データベースシステム

- ・1号・2号認定率ともに国・県・同規模自治体よりも認定率が高い状況です。
- ・介護認定を受けている方の有病状況は、最も多いのが心臓病、次いで高血圧症の生活習慣病となっています。3番目には、筋・骨格が続いている状況で、これは、国・県と同様の傾向にあります。

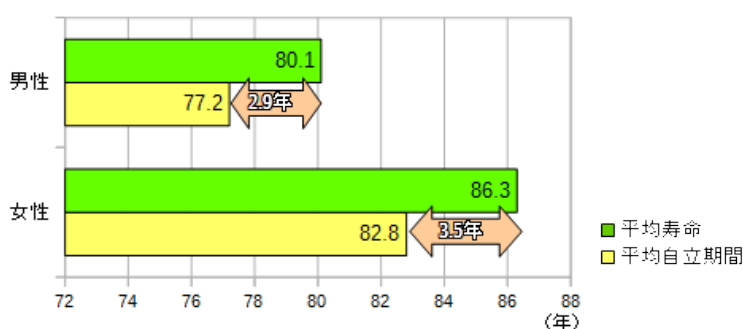
### 2.平均寿命

#### 1.平均寿命(平成27年度)



出典:平成27年度保健統計の概況(福島県)

#### 2.平均寿命と平均自立期間の差(平成27年度)



出典:国保データベースシステム

- ・平均寿命は、国・県と同様に男性よりも女性の方が長いです。
- ・平均寿命と平均自立期間の差でも、女性が男性より長く、その差は5.6年開いています。
- ・市の平均寿命と平均自立期間の差は、男性2.9年・女性3.5年です。この差は、男性が女性より平均寿命が短いと考えられます。

※平均自立期間…日常生活動作が自立している(要介護2以上になるまで)期間の平均

## データから見る会津若松市の特徴と課題

### 【特徴】

- 主要死因の上位3位疾患は、悪性新生物、心疾患、肺炎であり、特に悪性新生物と心疾患の死亡率が高く、男女別では悪性新生物において差が大きい状況です。
- 心疾患による死亡率が国より高い状況で、特に急性心筋梗塞による死亡率は、平成27年度においては、県がワースト1位で、本市の死亡率も国も比べると非常に高い状況です。
- 子どもの肥満は幼児期から学童期に増加しており、国に比べて肥満傾向児が多い状況です。
- 特定健診受診率は、県・国よりも高いですが、半数以上が未受診であり、受診者と未受診者で生活習慣病にかかっている医療費の差が拡大しています。
- 特定健診項目では、肥満者の割合が多く、メタボリックシンドロームの該当率においては、ワースト2位の県より高く、微増しています。
- 特定健診の問診項目では、運動習慣や1日1時間以上の身体活動がない方の割合が多く、特に身体活動においては、国との差が大きい状況です。
- 介護認定を受けている人は心臓病・高血圧・筋骨格の疾患を有している人が多い状況です。

### 【課題】

- 自分の健康状態を知って、生活習慣の改善や適切な受診へつながるよう多くの方に健診(検診)を受けていただく必要があります。
- 心疾患や高血圧、脳血管疾患等のリスクとなる肥満及びメタボリックシンドロームの該当者が多いことから、市の現状を知っていただき、子どもの頃から肥満にさせない、また若い世代の方にも自分の健康に関心を持ってもらうことが必要です。
- 生活習慣の改善、特に身体活動量の増加や、太りやすい食生活の見直し、規則正しい生活などに目を向けられるような取り組みが必要です。